

令和7年度 北海道遠軽高等学校 全日制課程 学校関係者評価

1 本年度の重点目標

1	自分の夢や将来を大切に、達成に向けて継続的に努力する生徒の育成
2	様々な教育活動に意欲を持って取り組み、互いに認め合い高めていく生徒の育成
3	豊かな情操と他者への思いやりをもち、自他の生命を尊重し行動する生徒の育成
4	望ましい職業観・勤労観や市民性を身に付け、社会・職業に円滑に移行する生徒の育成
5	郷土を理解し愛するとともに、グローバルな視点で物事を考える生徒の育成

2 育成を目指す生徒像

1	高い志をもち、目標達成に向け継続的に努力する生徒
2	失敗を恐れず何事にも挑戦し、互いに高め合い意欲的に取り組む生徒
3	自他の人権を尊重し、他者を思いやる優しい生徒
4	望ましい職業観・倫理観や市民性を身に付け、進んで奉仕活動に携わる生徒
5	グローバルな視点で物事を考えることができる生徒

()内は令和6年度
(-)は該当なし

【評価】よく当てはまる 4 少し当てはまる 3 あまり当てはまらない 2 当てはまらない 1

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
学校運営	1	学校教育目標は家庭や地域の願いに応えたものになっていると思う。	3.4 (3.6)	3.5 (3.5)	3.4 (3.3)	・生徒の進路実現や単位制を踏まえた教育課程の編成及び実施の工夫が必要である。 ・学校のプリント等を漏れなく保護者が確認できるように工夫する必要がある。	・次期学習指導要領の改訂の動きや本校生徒の特色を踏まえ、教育課程の編成について見直す。 ・学校からの連絡等を必ず保護者に伝えることの意識付けに加え、インターネットを活用した連絡体制を工夫する。 ・学校の活動に加え、地域での活動等もホームページ等に掲載するなどの学校の情報発信に努める。
	2	授業の配置などの教育課程は生徒の進路実現に応えたものになっていると思う。	3.3 (3.4)	3.5 (3.5)	3.5 (3.4)		
	3	学校は、教育活動などを積極的に情報発信していると思う。	3.5 (3.6)	3.5 (3.5)	3.2 (3.3)		
	4	HR担任や部活動顧問、関係教職員は、保護者と連携が取りやすい環境にあると思う。	3.4 (3.6)	3.5 (3.4)	3.3 (3.1)		
	5	教職員の言葉づかいや態度、電話の応対などは、適切に行われていると感じる。	3.5 (3.3)	3.5 (3.5)	3.6 (3.5)		
	6	あなたは、学校から配付されるプリントなどを、保護者に必ず見せている。(指導している。)	3.5 (3.5)	3.4 (3.3)	3.0 (2.7)		
	7	遠軽高校に入学して良かったと思う(指導をしている。)	3.4 (3.3)	3.4 (3.4)	3.5 (3.5)		
学校関係者評価		・SNSを使用した情報発信とともに、ホームページを活用して学校の様子を配信し保護者や地域住民に向けてタイムリーな情報を届けるよう改善が必要である。					

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
学習指導	8	全ての授業において、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図られていると思う。	3.4 (3.1)	3.3 (3.4)	3.2 (3.2)	・生徒の学力向上や学習習慣の定着等に向けて、引き続き、すべての教員の授業力向上や授業の工夫改善に努める必要がある。	・授業改善のための教員間の授業見学や意見交換、校外の研修を促進し授業力の向上を図る。
	9	予習・復習や学習課題など、家庭学習に取り組んでいる。(取り組ませている。)	3.1 (3.0)	2.8 (2.7)	3.0 (2.9)		
	10	今年度になって、学力は向上したと感じる。	2.9 (2.9)	3.0 (2.9)	3.0 (2.9)		
	11	全ての授業において、教員は適切な態度で授業を行っていると思う。	3.4 (2.9)	3.4 (3.2)	3.2 (3.2)		
	12	本校の学習指導は、わかりやすく、丁寧に行われていると思う。(※本校の学習指導は、適切に行われていると思う。)	3.5 (3.3)	3.3 (3.3)	3.2 (3.2)		
学校関係者評価		・生徒自身が学力が付いていると感じるという項目の評価が低い。教員の授業力向上と探求的な活動の工夫・改善等により授業で理解した内容をアウトプットする機会をさらに増やす必要がある。					
生徒指導	13	教職員は、積極的に声をかけたり、悩みを聴いたりするなど、生徒理解に努めている。	3.6 (3.6)	3.3 (3.4)	3.2 (3.1)	・「いじめ」への対応については、限りなく「4.0」ポイントに近づくことが重要であることから、引き続き、いじめの対応、生徒指導の組織的な対応及び外部機関との連携など教員の意識向上が必要である。 ・生徒、保護者への本校のいじめ防止に関する取組について、より一層保護者への情報発信が必要である。	・いじめに対する感知度を高めるとともに教育相談を充実させ、生徒への指導や支援の体制を構築する。 ・年度初め等において、本校の「学校いじめ防止基本方針」を生徒、保護者に周知するとともに、HPなどにより具体的な取組等の情報発信に努める。
	14	学校は、「いじめ」への対応について、適切に対応していると思う。(※遠軽高は、いじめのない学校だと思う)	3.6 (3.6)	3.4 (3.4)	3.2 (3.2)		
	15	学校は、挨拶、服装、髪型など、社会のルールやマナーなどについて適切に指導していると思う。	3.6 (3.2)	3.4 (3.4)	3.4 (3.3)		
	16	あなたは(生徒は)、学校の生徒指導について理解している。	3.3 (3.2)	3.5 (3.4)	3.4 (3.3)		
	17	学校は、教育相談や面談週間の実施などによって、生徒の悩みや不安の解消に努めていると思う。	3.7 (3.7)	3.4 (3.5)	3.3 (3.2)		
	18	本校の生徒指導は、適切に行われていると感じる。	3.5 (3.3)	3.3 (3.3)	3.3 (3.2)		
学校関係者評価		・いじめアンケートや健康調査アンケートなどを通じ、引き続き、日頃から生徒の状況を把握していじめの早期発見及び早期対応に取り組むことが重要である。					

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
進路指導	19	学校は、進路実現に向けて、生徒が主体的に取り組む態度を育成していると思う。	3.4 (3.3)	3.5 (3.5)	3.4 (3.4)	・模試や資格取得など、結果を分析し、進路指導に活用する必要がある。	・生徒一人一人の「好き」や「得意」を原動力とした主体的な学びを促すとともに、地域企業や地域住民との関わりをより多く設定して、探求的な学びを通して地域を理解し、進路について考えさせる。
	20	学校は、模試などへの参加を促し、その結果を分析して進路指導に生かしていると思う。	3.3 (3.4)	3.5 (3.5)	3.2 (3.3)		
	21	学校は、生徒の進路希望に応じたきめ細やかな指導をしていると思う。	3.6 (3.5)	3.5 (3.6)	3.3 (3.3)		
	22	学校は、進路について必要な情報を提供していると思う。	3.8 (3.7)	3.6 (3.7)	3.3 (3.3)		
	23	本校の進路指導は、適切に行われていると感じる。	3.6 (3.6)	3.6 (3.7)	3.4 (3.3)		
学校関係者評価		・インターンシップや地域のイベント棟への参加等を通じて、地域社会とのつながりを意識させる取組を積極的に導入することが必要である。					
健康・安全指導	24	学校は、教科や学校行事、部活動などで、心身の健康と安全について適切に指導していると思う。	3.6 (3.5)	3.5 (3.6)	3.4 (3.3)	・昨年に続きネットトラブル等が発生していることから、SNSの正しい使い方など、情報モラル教育の充実に必要なことがある。 ・規則正しい生活習慣をより一層身に付けさせる必要がある。	・教員の情報モラル教育の意識を高め、生徒への指導を行い、メディアリテラシーの教育を充実させる。 ・担任からの指導だけでなく、様々な立場の教員から関わりを持ってもらい指導の充実を図る。
	25	学校は、生徒が体調不良や怪我などをした場合、適切に対応していると思う。	3.7 (3.6)	3.5 (3.7)	3.5 (3.4)		
	26	あなたは（生徒は）、睡眠、食事、時間を守るなど、規則正しい生活習慣が身につけている。	3.2 (3.3)	3.3 (3.3)	3.2 (3.0)		
	27	学校は、スマートフォンやインターネット、SNS等の使い方について適切に指導していると思う。	3.5 (3.5)	3.5 (3.5)	3.2 (3.2)		
	28	本校の健康・安全指導は、適切に行われていると感じる。	3.5 (3.6)	3.6 (3.7)	3.3 (3.3)		
学校関係者評価		・科目「情報Ⅰ」やホームルーム等において情報モラルについての指導を強化するとともに、警察などの関係機関と連携して全校的に指導するなど学ぶ機会を増やす必要がある。					

領域	No.	評価の観点	教員	生徒	保護者	課題	改善の方策
教職員	29	各分掌間の連絡・相談が十分にされている。	3.2 (3.2)	-	-	・各分掌や年次間の連携に加え、年次付も含めより一層の年次内での情報共有が必要である。	・職場全体で報告、連絡、相談の徹底を図るとともに、コミュニケーションの取りやすい職場環境を構築する。
	30	悩みや不安などを相談できる職場環境となっている。	3.3 (3.3)	-	-		
	31	心身の健康について、自己管理ができています。	3.5 (3.5)	-	-		
学校関係者評価		・授業の指導方法や学級経営の方法など教員間で情報交換を図り、効率的に仕事を進めるなどの改善を行うとともに、心身の健康の保持増進のためにも長時間勤務の改善に取り組む必要がある。					
危機管理	32	教職員や生徒等の個人情報を持ち出さないなど、適切に保護している。	3.6 (3.5)	-	-	・引き続き、服務規律の徹底や法令遵守等、地域や生徒から信頼される学校づくりに、継続的に取り組む必要がある。	・北海道教育委員会が定める「コンプライアンス確立月間」のみならず、年間を通じて、服務規律の遵守について啓蒙していく。 ・個人情報の取扱には細心の注意を払い扱うことを周知させる。
	33	部活動会計や生徒会費の請求等、適切な会計処理を行っている。	3.7 (3.5)	-	-		
	34	遠軽高校は、職員の服務規律の徹底等、コンプライアンスの確立に努めている。	3.6 (3.3)	-	-		
	35	問題や事故の発生時など、速やかに管理職に報告している。	3.8 (3.7)	-	-		
学校関係者評価		・教職員全員が服務規律遵守の研修を行うなど地域や生徒から信頼される学校づくりに向けて意識を向上させる必要がある。					
施設整備	36	施設設備の維持管理が適切に行われている。	3.4 (3.4)	-	-	・定期的な点検だけでなく日常的に使用している場所の管理を教職員が意識していくことが課題である。	・不具合箇所の周知を職員、生徒に徹底し、事故防止に努める。
	37	施設の補修や設備の補充が十分にされている。	3.4 (3.4)	-	-		
学校関係者評価		・熱中症対策について他校の事例を収集し参考にするなどして、具体的な改善点を検討する必要がある。					
働き方改革	38	遠軽高校は業務のDX化やClassiの活用による業務の効率化により、時間外勤務の縮減に努めている。 (※業務の見直しやClassiの活用による業務の効率化により、時間外勤務の縮減に努めている。)	3.1 (2.9)	-	-	・Classiを活用した情報発信やクラウド機能を使った授業展開により授業準備や保護者への連絡等、時間外勤務の縮減はできているが、作業の平準化や学校行事の精選等に課題がある。	・時間外勤務縮減等について、職員からアイデアを募るなど、具体的な改善の方策を確認しているため、今後は実践につなげていく。
	39	遠軽高校は教育のDXを進めるなど、授業準備等の負担軽減に努めている。 (※道教委のモデル別教材などのICTを活用し、授業準備の負担軽減に努めている。)	3.4 (3.0)	-	-		
	40	遠軽高校は、学校行事の精選等、スクラップ&ビルドの視点で改革を推進している。	3.2 (3.1)	-	-		
	41	遠軽高校は、年次内や分掌内などにおいて、相互協力、相互援助など、作業の平準化がなされている。	3.0 (2.9)	-	-		
	42	遠軽高校は、職員のメンタルヘルスの向上のための取り組みを行っている。	3.1 (3.0)	-	-		
学校関係者評価		学校運営協議会と連携して、地域と学校が一体となって教育活動を支える体制を整えていく必要がある。					